

南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について*

海上保安庁水路部

明神礁は1979年7月13日に変色水が認められ、1980年11月15日に再度薄い緑色変色水が認められた。福神海山は5月12日の観測時に変色水が認められたが、それ以後変色水は認められない。福徳岡の場は薄い変色水が存在し、断続的な海底火山活動が認められる。日光海山および南日吉海山については変色水は全く認められない。西之島及西之島新島のまわりには薄い変色水が認められ、新島の南側から東側に至る陸部がさらに海蝕が進んでいる。

本会報第18号に報告した後の各海底火山の火山活動の経過は以下のとおりである。

1. 福神海山（通称、福神岡の場）

北緯21度56分 東経143度28分

当庁が入手した資料による昭和55年4月24日以降の火山活動の経過は第1表のとおりである。

第1表 福神海山の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通報・観測者
1980年 5月12日	幅約100m、長さ約400mのコバルトブルー色の変色水。ソノブイの聴音によりゴボゴボという噴き出す音を聞く。	海上自衛隊 第四航空群
6月16日	変色水認められず	"
7月 8日	"	海上保安庁 YS-11(701号機)
7月14日	"	海上自衛隊 第四航空群
8月18日	"	"
9月 4日	"	"
10月21日	"	"
11月14日	"	"
12月18日	"	"

2. 南日吉海山（通称 日吉沖の場）

北緯23度30.4分 東経141度54.3分

* Received Dec. 27, 1980.

昭和53年3月24日以降、火山活動は認められていない。当庁が入手した資料による昭和55年4月24日以降の火山活動の経過は第2表のとおりである。

第2表 南日吉海山の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通報・観測者
1980年 6月16日	変色水認められず	海上自衛隊 第四航空群
7月 8日	"	海上保安庁 YS-11(701号機)
7月14日	"	海上自衛隊 第四航空群
8月18日	"	"
9月 4日	"	"
10月21日	"	"
11月14日	"	"
12月18日	"	"

3. 福德岡の場 北緯24度18.1分 東経141度29.0分

火山活動の活発な時期には変色水の色は黄緑色に近い色を呈しているが、最近の観測では青緑色に近く薄いため活動は小規模であると思われる。当庁が入手した資料による昭和55年4月24日以降の火山活動の経過は第3表のとおりである。

第3表 福德岡の場の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通報・観測者
1980年 5月12日	直径約100mのコバルトブルーの変色水で中心付近は乳白色。	海上自衛隊 第四航空群
6月16日	幅50m、長さ200mの変色水。	"
7月 7日	非常に薄い変色水。	海上保安庁 YS-11(701号機)
7月 8日	直径約50mの非常に薄い緑色変色水。	"
7月14日	幅150m、長さ450mの緑色変色水。	海上自衛隊 第四航空群
8月18日	変色水認められず。	"
9月 4日	"	"
10月21日	"	"
11月14日	幅30m、長さ100mの青緑色変色水。	"
12月18日	湧出点を頂点とする北東方向に約2Kmの三角形状の薄い緑色変色水で湧出点は乳白色。	"

4. その他の海底火山

明神礁 北緯 31 度 54.5 分 東経 140 度 00.9 分

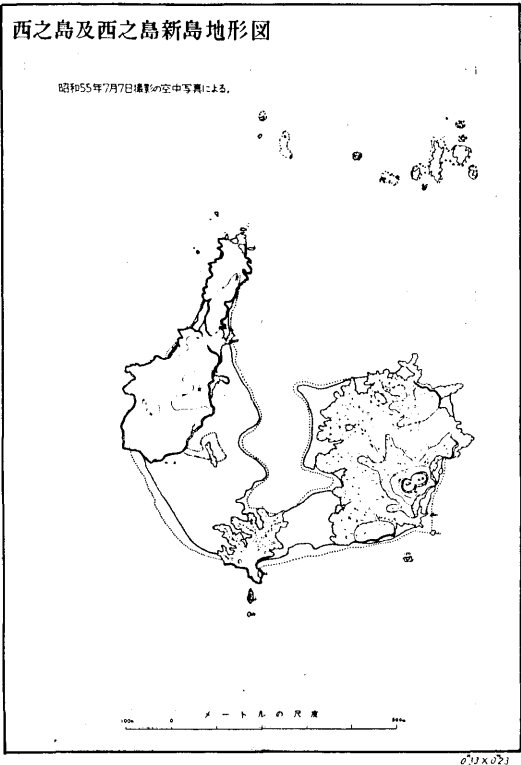
明神礁は昨年 7 月 13 日に変色水が認められ、それ以後情報もなく火山活動が認められていなかったが、本年 11 月 15 日漁船による通報があったので、海上保安庁は航空機 (YS-11) により調査を実施した。火山活動の様子は第 4 表のとおりである。

第 4 表 明神礁の火山活動の経過

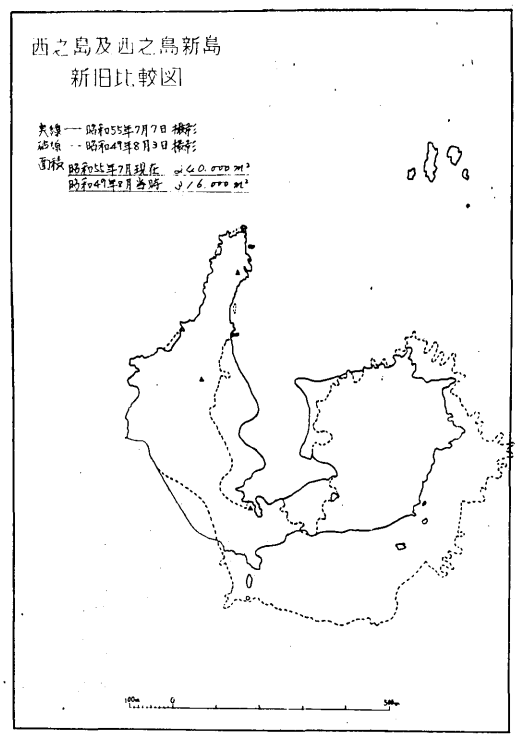
期 日	活 動 状 況	通報・観測者
1979年 7月13日	東西方向に約 1 Km 拡がった薄い緑色変色水。 (火山噴火予知連絡会会報第 16 号に掲載済み)	海上保安庁 YS-11 (701 号機)
1980年 7月 7日	変色水認められず。	〃
11月15日	直径 10m の青白色変色水。	漁 船 水 天 丸
11月18日	直径 50m~80m の 3 個の薄い緑色変色水。変色水は小さな波浪に囲まれている。	海上保安庁 YS-11 (701 号機)
11月19日	幅 70m, 長さ 500m の緑色変色水。	漁 船 第 26 伸光丸
11月26日	幅 50m, 長さ 200m の薄い緑色変色水。	海上保安庁 YS-11 (702 号機)
12月 2日	変色水認められず。	〃
12月23日	東西約 300m, 南北約 200m の楕円状の薄い緑色の変色水。	海上保安庁 YS-11 (780 号機)

西之島及西之島新島 北緯 27 度 14.6 分 東経 140 度 52.6 分

1980年7月7日、海上保安庁 YS-11 (701 号機) の観測において新島の南および東側一帯にかなり濃い変色水が認められ、また旧島の西側には広範囲にわたって薄い変色水が認められた。新島の南側の海蝕が激しく、陸地の最短幅は約 75m となっている (付図参照)。



付図1 西之島及西之島新島地形図



付図2 西之島及西之島新島新旧比較図